

# 平成29年度 学校評価アンケート調査 集計結果及び概況等

平成29年12月21日  
宮城県岩出山高等学校

## 1 学校評価アンケート調査状況(保護者・生徒・職員別)

	保護者			生徒			職員		
	H28	H29	前年比	H28	H29	前年比	H28	H29	前年比
実施日・期間	10/26(木)～11/7(火)			11/7(火)			11/6(月)～7(火)		
回収方法	郵送[回収:生徒]			即日回収			即日回収		
対象人数	266名	271名	5名	281名	286名	5名	40名	40名	0名
回答人数	179名	155名	-24名	271名	261名	-10名	40名	38名	-2名
回収・回答率	67.3%	57.2%	-10.1%	96.4%	91.3%	-5.2%	100.0%	95.0%	-5.0%

## 2 段階別評価及び肯定的評価(前年度比較)の割合

※評価段階 1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない  
※「肯定的評価」=「1:よく当てはまる」と「2:だいたい当てはまる」の合計

[単位:%]

項目	対象者	保護者						生徒						職員								
		H29 評価段階別の割合				肯定的評価割合		前年比	H29 評価段階別の割合				肯定的評価割合		前年比	H29 評価段階別の割合				肯定的評価割合		前年比
		1	2	3	4	H29	H28		1	2	3	4	H29	H28		1	2	3	4	H29	H28	
1	学力向上の授業	5.8	66.2	24.7	3.2	72.1	77.4	▲5.3	9.2	54.6	26.9	9.2	63.8	74.1	▲10.3	13.9	80.6	5.6	0.0	94.4	95.0	▲0.6
2	家庭学習習慣	7.7	21.3	41.9	29.0	29.0	29.6	▲0.6	6.5	18.0	41.0	34.5	24.5	28.9	▲4.4	0.0	2.8	52.8	44.4	2.8	15.0	▲12.2
3	学習指導の効果	9.0	67.1	19.4	4.5	76.1	70.8	5.3	13.5	53.1	25.8	7.7	66.5	71.5	▲5.0	27.8	58.3	13.9	0.0	86.1	95.0	▲8.9
4	基本的生活習慣指導	18.8	59.1	17.5	4.5	77.9	85.4	▲7.5	29.5	49.8	15.3	5.4	79.3	85.6	▲6.3	24.3	62.2	13.5	0.0	86.5	90.0	▲3.5
5	生活指導方針	17.4	58.1	18.1	6.5	75.5	73.7	1.8	16.5	54.4	22.6	6.5	70.9	81.5	▲10.6	36.1	55.6	8.3	0.0	91.7	92.5	▲0.8
6	生徒の健康管理	11.0	65.2	21.9	1.9	76.1	71.5	4.6	15.9	46.1	30.6	7.4	62.0	67.7	▲5.7	24.3	67.6	8.1	0.0	91.9	92.5	▲0.6
7	教育相談	14.8	58.1	20.0	7.1	72.9	75.3	▲2.4	22.6	55.9	15.3	6.1	78.5	80.8	▲2.3	43.2	48.6	8.1	0.0	91.9	100.0	▲8.1
8	部活動	16.1	49.7	26.5	7.7	65.8	62.9	2.9	11.1	47.9	29.5	11.5	59.0	66.7	▲7.7	8.1	48.6	35.1	8.1	56.8	67.5	▲10.7
9	生徒会活動	14.9	65.6	18.8	0.6	80.5	79.8	0.7	17.8	57.5	19.7	5.0	75.3	76.4	▲1.1	8.1	67.6	21.6	2.7	75.7	85.0	▲9.3
10	有意義な学校行事	21.9	63.2	12.3	2.6	85.2	80.9	4.3	17.6	50.6	21.1	10.7	68.2	66.2	2.0	39.5	60.5	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
11	いじめの早期発見・共有	9.7	48.4	28.4	13.5	58.1	44.4	13.7	10.8	47.1	27.8	14.3	57.9	55.7	2.2	22.2	66.7	11.1	0.0	88.9	97.5	▲8.6
12	進路目標の明確化	20.8	52.6	22.7	3.9	73.4	78.1	▲4.7	19.5	58.2	17.6	4.6	77.8	76.8	1.0	37.8	56.8	5.4	0.0	94.6	97.5	▲2.9
13	進路実現に向けた指導	26.5	49.7	21.9	1.9	76.1	77.5	▲1.4	21.2	56.5	17.7	4.6	77.7	79.6	▲1.9	43.2	51.4	5.4	0.0	94.6	100.0	▲5.4
14	進路情報提供・相談	18.1	53.5	24.5	3.9	71.6	66.9	4.7	15.3	59.0	21.1	4.6	74.3	76.4	▲2.1	37.8	51.4	10.8	0.0	89.2	95.0	▲5.8
15	特色ある学校づくり	31.6	57.4	9.7	1.3	89.0	85.4	3.6	23.5	60.0	13.5	3.1	83.5	83.4	0.1	54.1	40.5	5.4	0.0	94.6	100.0	▲5.4
16	ボランティア活動の実績	18.7	56.1	24.5	0.6	74.8	76.4	▲1.6	13.8	45.1	35.2	5.9	58.9	75.6	▲16.7	23.7	60.5	13.2	2.6	84.2	95.0	▲10.8
17	災害時の避難・連絡	34.5	48.6	14.9	2.0	83.1	80.9	2.2	20.2	50.2	23.3	6.3	70.4	83.2	▲12.8	43.2	54.1	2.7	0.0	97.3	95.0	2.3
18	学校の情報	29.7	53.4	15.5	1.4	83.1	92.6	▲9.5	25.0	54.4	16.3	4.4	79.4	87.0	▲7.6	42.1	57.9	0.0	0.0	100.0	95.0	5.0
19	校舎等の施設設備	11.5	57.4	24.3	6.8	68.9	68.4	0.5	10.7	45.1	30.0	14.2	55.7	64.5	▲8.8	15.8	52.6	31.6	0.0	68.4	74.4	▲6.0
20	学校生活の充実度	30.4	48.0	16.9	4.7	78.4	81.7	▲3.3	16.2	46.6	21.3	15.8	62.8	66.7	▲3.9	2.6	63.2	31.6	2.6	65.8	92.3	▲26.5
	平均					73.4	73.0	0.4					67.3	72.4	▲5.1					82.8	88.7	▲5.9

※番号の網かけは、学校独自項目

※肯定的評価割合欄の網かけは、肯定的評価60%未満。  
※前年比欄の網かけは、前年比5ポイント以上減少。

## 3 肯定的評価割合の度数分布

(肯定的評価=「1:よく当てはまる」と「2:だいたい当てはまる」の合計)

	保護者			生徒			職員		
	H28	H29	前年比	H28	H29	前年比	H28	H29	前年比
80 ~	6	5	▲1	6	1	▲5	17	15	▲2
75 ~	12	11	▲1	11	7	▲4	17	16	▲1
60 ~ 74	6	7	1	7	8	1	2	2	0
50 ~ 59	0	1	1	1	4	3	0	1	1
~ 49	2	1	▲1	1	1	0	1	1	0
合計	20	20	0	20	20	0	20	20	0

## 4 概況

## (1) 保護者アンケート調査

- 肯定的評価が75%以上の項目は、20項目中11項目（前年度比1減）であった。中でも「生徒会活動」「有意義な学校行事」「特色ある学校づくり」「学校の情報」「災害時の避難・訓練」の5項目が肯定的評価80%を超えた（前年度比1減）。
- 肯定的評価が60～74%の項目は7項目（前年度比1増）であった。
- 肯定的評価が60%未満は2項目（前年度比増減なし）で、「家庭学習習慣」「いじめの早期発見・共有」であった。特に、「いじめの早期発見・共有」は58.1%と、昨年度より13.7ポイント上昇はしているものの、「家庭学習習慣」（評価対象が学校ではなく生徒となる項目）を除いた全データ（生徒アンケート含む）の中で、肯定的評価が最も低い結果となった。また、「家庭学習習慣」は29.0%と、ほぼ前年度と変わらない結果となった。
- 「学校の情報」が9.5ポイント減と最大のダウンとなってしまった。（Eメッセージの発信や学校発行物郵送等の成果が残念ながら出していない。）
- 肯定的評価の割合が、前年度より向上が全20項目中11項目、低下が9項目であった。

## (2) 生徒アンケート調査

- 肯定的評価が75%以上の項目は、20項目中7項目（前年度比4減）であった。中でも、「特色ある学校づくり」のみ1項目が肯定的評価80%を超えた（前年度比5減）。
- 肯定的評価が60～74%の項目は8項目（前年度比1増）であった。
- 肯定的評価が60%未満は5項目（前年度比3増）で、「家庭学習習慣」「部活動」「いじめの早期発見・共有」「ボランティア活動の実績」「校舎等の施設設備」である。中でも「家庭学習の習慣」は24.5%と前年度より9.8ポイント上昇したものの、保護者・生徒アンケートを通じて最も低い値となっている。「いじめの早期発見・共有」は57.9%と、前年度比2.2ポイント上昇したもののまだ低い値となっている。「校舎等の施設設備」は55.7%で、「家庭学習習慣」（生徒が評価対象となる項目）を除き、生徒アンケートの中で最も低い結果となった。
- 肯定的評価の割合が、前年度より向上が全20項目中4項目、低下が16項目であった。特に「ボランティア活動の実績」「災害時の避難・連絡」「生活指導の方針」「学力向上の授業」が特に大きくダウンとなった。

## (3) 教職員アンケート調査

- 肯定的評価が75%以上の項目は、20項目中16項目（前年度比1減）で、その中の10項目が肯定的評価90%を超えた（前年度比7減）。90%を超えたのは、「学力向上の授業」「生徒指導の方針」「生徒の健康管理」「教育相談」「有意義な学校行事」「進路目標の明確化」「進路実現に向けた指導」「特色ある学校づくり」「災害時の避難・連絡」「学校の情報」である。
- 肯定的評価が60～74%の項目は2項目（前年度比増減なし）であった。
- 肯定的評価が60%未満は1項目（前年度比増減なし）で、「家庭学習習慣」であった。
- 肯定的評価の割合が、前年度より向上が全20項目中3項目、低下が17項目であった。特に「学校生活の充実度」「家庭学習習慣」「ボランティア活動の実績」「部活動」において前年度比10ポイント以上のダウンとなっている。

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 1 総務部

#### (1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
15 特色ある学校づくり	保護者：H28 85.4%→H29 89.0% 生徒：H28 83.4%→H29 83.5% ・学校の取り組みである地域協働が保護者、生徒に理解されてきた成果である。学校行事の中にも他校にはない行事もある。また、「岩高短歌」は本校独自の言語活動であり、本校の特色を表しているためにこのような評価につながったと考える。
17 災害時の避難・連絡	保護者：H28 80.9%→H29 83.1% ・年度当初に、「緊急時の対応」や「引き渡しカードなど」を保護者に配布していることが保護者にとって大きな要因と考える。また、eメールでの連絡などを行っていることがあげられる。
18 学校の情報	保護者：H28 92.6%→H29 83.1% 生徒：H28 87.0%→H29 79.4% ・評価は下がっているものの80%弱の評価である。学校だより・学年便り・学級便りなどの先生方の努力の成果と考える。また、進路便りや保健便り・図書便りなどの啓発活動が活発であることがあげられる。また、学校発行物の配付も大きな成果だと思う。
20 学校生活の充実度	保護者：H28 81.7%→H29 78.4% ・この項目も前年度と比べれば下がるはいるものの、肯定的な評価である。これは特色ある学校づくりを推進してきた成果の一つと考えることができる。また、生徒が家庭で「学校での出来事」について話をしているのではないかと考える。

#### (2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
17 災害時の避難・連絡	生徒：H28 83.2%→H29 70.4% ・避難訓練時には防災学習を行ってはいないものの蓄積がされていないと考えられる。 ・台風での臨時休校の連絡はスムーズにできたが、最初の北朝鮮のミサイルについての連絡が上手くいかなかったことが否定的になった。	・1年次に1冊のファイルを準備し、そのファイルに蓄積していくなどの方法を検討しても良いのではないかと。
20 学校生活の充実度	生徒：H28 66.7%→H29 62.8% ・昨年度もこの項目は否定的な評価であった。その中で1年生は65.6%、3年生は66.7%となっていて、1年生は初めての高校生活に対して、3年生は最後の高校生活ということがありと考えられる。2年生の56.8%という評価は昨年度も60.6%と高くなかった。	・高校生活の意義を理解させ、自分の目標を設定させて生活する必要がある。常に「社会へ出たときの自分」を想定させ、生活させていくことが大切と考える。

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 2 教務部

#### (1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
3 学習指導の効果	<p><u>生徒：H28 - 71.5%→H29 - 66.5%</u></p> <p>・生徒一人ひとりが「自分にとって学ぶ場になっている」と実感できるような授業（ペア・ワークやグループ学習、ICTの利活用、少人数〔習熟度別〕授業、個に応じた課外指導など）が実践されているためと考えられる。</p>
15 特色ある学校づくり	<p><u>保護者：H29 - 89.0%      生徒：H29 - 83.5%</u></p> <p>・岩校短歌、漢字コンクール、朝読書、総学のフィールドワーク（課題解決型学習）等の取り組みが特色ある学習活動として評価された結果と考えられる。</p>
20 学校生活の充実度	<p><u>生徒：H28 - 66.7%→H29 - 62.8%</u></p> <p>・学習面がどの程度、この項目「自分にとって、学校生活は充実している」に影響を及ぼしているかは計りかねる。しかし、授業の充実が学校生活の充実につながることは確かだと思われるので、生徒が分かる・考える授業を今後も継続していく必要がある。</p>

#### (2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
1 学力向上の授業	<p><u>生徒：H28 - 74.1%→H29 - 63.8%</u></p> <p>・「学力」が何のために必要なのか（＝「なぜ勉強しなければならないのか」）を生徒に理解させる必要がある。</p>	<p>・知識としての「学力」のみではなく、集中力・忍耐力・コミュニケーション能力などの「学力」も身につくような指導の工夫に努める。</p> <p>・義務教育段階の学習内容の学び直し、基礎・基本の定着を図る授業実践、生徒の興味・関心を引き出すような教材の工夫など、今後も授業改善に努める。</p>
2 家庭学習習慣	<p><u>保護者：H28 - 29.6%→H29 - 29.0%</u></p> <p><u>生徒：H28 - 28.9%→H29 - 24.5%</u></p> <p>・家庭学習の定着度は3割弱、実態を示していると考えられる。</p>	<p>・家庭学習に取り組んでいる生徒の数値は低いですが、家で週末課題等の学習に取り組む生徒もおり、週末課題等の継続に一定の効果があると考えられる。</p> <p>・「基本的な生活習慣の確立」→「授業態度の徹底」→「授業時間外学習の促進」→「家庭学習習慣の確立」とつなげていきたい。特に、提出物については「必ず提出、締め切り厳守」の徹底を図りたい。今後も、基本的な生活（学習）習慣の定着に向けて粘り強い指導を心がける。</p>

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 3 生徒指導部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）
11 いじめの早期発見・共有	保護者44.4 (H28)→58.1 (H29) 13.7↑ 肯定的な評価が70%を超えるように、今後も生徒・保護者・教員間の連携を密にしてい く必要がある。

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
5 生活指導方針	生徒81.5 (H28)→70.9 (H29) ▲10.6 生徒は温度差があると思っているのではない か、注意を受けている生徒が不満を持って いる場合があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にとって公平感が持てる指導、足並みを揃えて指導していく必要がある。</li> <li>イエローカードは、罰ではないことの確認が必要ではないか。</li> </ul>
6 生徒の健康管理	生徒67.7 (H28)→62.0 (H29) ▲5.7 保健室に行きたい生徒が、自由に行けない 点に関係しているのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本当に具合が悪い生徒が利用できる体制作り</li> </ul>
8 部活動	生徒66.7 (H28)→59.0 (H29) ▲7.7 職員67.5 (H28)→56.8 (H29) ▲10.7 何もしていない、新たな取り組みをして いないためか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、1年生は夏休みまではバイトを禁止にする。</li> <li>調理研究部と伝統文化部を併せて100名程度が登録している状況の改善。定員を決めるとか、顧問を増やして活動できる体制を整える。また、ボランティア部を班分けしてゴミ拾い等の活動をするなど。</li> </ul>
16 ボランティア活動の実績	生徒75.6 (H28)→58.9 (H29) ▲16.7 職員95.0 (H28)→84.2 (H29) ▲10.8 自分が活動をしていないので低くなっ ているのではないか。また、質問がわかり にくいのではないか。具体的な例があると よい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前はLHRの時間でクラス毎に城山清掃や通学路清掃をしていたので復活させる。</li> </ul>
20 学校生活の充実度	職員92.3 (H28)→65.8 (H29) ▲26.5 学習や部活動の悩み相談より、友人関係 の問題などが多いためか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒たちの実態も変わってきている。例えば生徒会の生徒、「自分たちがやる」→「やらされている」とか「与えてやらせる」というように自分たちで動けない。</li> </ul>

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 4 進路指導部

(1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）

(2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
1 3 進路達成の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、この項目は、3学年だけ他学年に比べて肯定的な評価が高くなる傾向にあるが、今年の3年生徒は、確かに「強く肯定する」は他学年に比べて倍増しているが、全体的な肯定的評価は減った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年に対する指導は例年通りであるが、今年の3年生は、就職達成セミナー、集中模擬面接、合同企業説明会など、夏季休暇中の行事での出席率が例年に比べて極端に低く、9月前の準備段階で十分な指導や情報を受けられていないことからの評価と思われる。</li> </ul>
1 4 進路情報提供・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年よりも3学年の進路が目まぐるしく変化したことから、個々人の進路指導に傾注したため「進路部だより」を発行する余裕がなかった。</li> <li>・進学指導では、奨学金や受験報告書についての情報が周知できていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路部だより」では、昨年度から情報量を減らし発行部数を増やす試みをしようとしているが、なかなか思うように発行できていない。努力していきたい。</li> <li>・総学の時間などを活用し、分野別・進路別に生徒を集めて、情報をしっかり伝えられるようにしたい。</li> </ul>
自由記述より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路説明会を早い時期（1回目の奨学金に間に合うよう）に開催して欲しい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、4月下旬に実施するPTA総会の学年PTAで奨学金の紹介も含め、様々な進路情報を提供しているが、残念ながら、今年は2～3名くらいしか参加がなかったと記憶している。</li> <li>・PTA総会の案内で、奨学金などの重要な進路情報の話があることを明記して、特に3学年の保護者には、できれば全員参加していただきたい。</li> </ul>

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 5 1 学年

#### (1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）	
② 家庭学習の習慣	保護者：22.6%(H28)→35.0%(H29) △12.4%	②③学校をあげて取り組んでいる学び直しや基礎基本の徹底、週末課題等が保護者に支持されている。 ⑤⑦⑬容儀指導や教育相談、進路指導について取組を充実させるとともに、学級通信等で保護者への広報をしている点も評価されている。 ⑩⑮⑳政宗公祭りや食楽祭り、総学の地域学習などの取組が支持され、本校の教育活動の理解につながっている。また、学校行事や生徒会活動が充実していたこと、先輩方が引っ張ってくれたことが評価された。
③ 分かる授業の展開	保護者：62.3%(H28)→83.3%(H29) △21.0%	
⑤ 生徒指導の方針	保護者：69.4%(H28)→81.7%(H29) △12.3%	
⑦ 教育相談の充実	生徒：72.1%(H28)→80.6%(H29) △ 8.5%	
⑧ 部活動の活性化	保護者：59.0%(H28)→73.3%(H29) △14.3%	
⑩ 有意義な学校行事	保護者：75.4%(H28)→85.0%(H29) △ 9.6% 生徒：61.8%(H28)→72.4%(H29) △10.6%	
⑬ 進路指導の充実	保護者：67.2%(H28)→76.7%(H29) △ 9.5% 生徒：72.1%(H28)→81.5%(H29) △ 9.3%	
⑮ 特色ある学校づくり	生徒：74.0%(H28)→87.8%(H29) △13.8%	
⑳ 学校生活の充実	保護者：78.3%(H28)→89.7%(H29) △11.4%	

#### (2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
① 魅力ある授業	生徒：73.8%(H28)→58.2%(H29) ▼15.6%	①③【分析】生徒の実態把握（学力・学習習慣、等）が不十分であった。また、進路希望等に即応した教育課程や年間指導計画の検討が不十分であった。1学年の生徒は一見すると大人しく真面目なようであるが、積極性の低さ、流されやすさ、良い意味での競争意識が低いなどの実態がある。【改善策】学習状況調査の活用、面談、進路希望調査等の活用をさらに進める。また、指導方法の改善、教材の工夫等を行う。 ②【分析】家庭学習については、前年比で好転しているものの35%と低い状況である。週末課題等の提出状況も十分ではない。【改善策】家庭学習について、週末課題以外の各教科でも宿題を検討する。家庭学習の習慣化を、学級通信等で保護者へ呼びかける。 ⑤【分析】容儀指導やイエローカードの基準について、不公平感を口にする生徒がいる。【改善策】学年・学級・教科等で、生徒指導の基準を揃えていくことが必要。また、生活指導は進路達成のために不可欠なものであり、不公平等の発想は自己実現の妨げになることを助言・説諭していく。 ⑦【分析】75%とおおむね良好ではあるが、前年比で下がっている。【改善策】生徒面談の充実、養護教諭やSC、外部機関との連携を進める。
② 家庭学習の習慣	保護者：22.6%(H28)→35.0%(H29) △12.4% 生徒：34.0%(H28)→23.5%(H29) ▼10.5%	
③ 分かる授業の展開	生徒：70.9%(H28)→64.9%(H29) ▼ 6.0%	
⑤ 生活指導の方針	生徒：81.7%(H28)→75.5%(H29) ▼ 6.2%	
⑦ 教育相談の充実	保護者：80.3%(H28)→75.0%(H29) ▼ 5.3%	
⑪ いじめ対応	保護者：45.9%(H28)→51.7%(H29) △ 5.8% 生徒：52.9%(H28)→51.5%(H29) ▼ 1.4%	
⑮ ボランティア活動	生徒：71.7%(H28)→64.5%(H29) ▼ 7.2%	
⑰ 災害・非常時への備え	生徒：74.7%(H28)→68.8%(H29) ▼ 5.9%	
⑲ 施設設備の整備	生徒：69.7%(H28)→59.1%(H29) ▼10.6%	
⑩	【分析】約50%であり、人間関係の悩みを訴える（訴えることもできないでいる）生徒がいる。家庭環境等の悩みを抱えている生徒も少なくない。また、「相談しても無駄」「何も対応してくれない」となりがち。【改善策】いじめの構図に発展する前に、普段の観察やアンケート、面談で問題の把握をする。また、人間関係の調整を積極的に行うと同時に、自分自身で問題を解決していくためのスキル修得を促す指導を行う。さらに、SNSの問題は学年・学級だけでは対応が難しいため、家庭への啓発・協力も得ていく。	
⑲	【改善策】環境美化、清掃の徹底。	

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 6 2 学年

(1) 肯定的な評価を受けた項目 生/保 今年度2学年結果 (昨年度2学年結果) (昨年度1学年結果)

質問番号・項目	分析 (肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等)
<b>10 有意義な学校行事</b> 生 67.4 (-4.6) (+5.6) 保 85.1 (+12.2) (+9.7)	それぞれ、昨年の2年生と比較すると(-4.6), (-7.1)であるが、昨年の1年生から(+5.6), (+6.7)となっている。行事を通して、少しずつ積極性がうかがえるようになってきた。上級生として、より主体的に行事に参加できるよう、生徒会等と連携していきたい。
<b>15 特色ある学校づくり</b> 生 80.7 (-7.1) (+6.7) 保 85.1 (+3.8) (+1.5)	また、保護者は肯定的な結果となっている。生徒の欠席日数も減少傾向であることから、有意義な学校行事のもと、生徒が学校生活を楽しんでいる様子が伝わっていると考えられる。

(2) 否定的な評価を受けた項目 生/保 今年度2学年結果 (昨年度2学年結果) (昨年度1学年結果)

質問番号・項目	分析 (否定的評価の理由等)	今後に向けた改善策等
<b>2 家庭学習習慣</b> 生 28.1 (+3.7) (-5.9) 保 23.4 (+4.6) (+0.8)	家庭学習の習慣がまだついていない。昨年の1年生から(-5.9)となっている点も気になる。	考査に向けた学習意欲は徐々に高まってきている。課題も出されればやるという生徒が多い(出されなければやらない生徒が多い)。授業の充実を図りながら、生徒の実態に応じて、家庭学習を見据えた課題を課していく。
<b>3 学習指導の効果 ※肯定的</b> 生 68.5 (-1.0) (-2.4) 保 70.2 (+5.6) (+7.9)	考査に向けた取り組みは改善されつつある。中学校までは成績が振るわなかった生徒で、成果を上げている者もいる。	生徒が不公平感を抱かないような生活指導をしていく必要がある。
<b>4 基本的生活習慣指導</b> 生 83.1 (-4.7) (-5.4) 保 70.2 (-17.3) (-15.3)	生徒は基本的生活習慣について指導を受けている自覚はあるようだが、一部の生徒のだらしなさが全体の印象に影響を与えている。自由記述欄も含めて、より厳しくしてほしいという声も聞かれる。	生徒が相談しやすい雰囲気はつくりつつ、深く介入することなく生徒が自力でよい人間関係を築けるよう、必要に応じて助言していく。
<b>5 生活指導方針</b> 生 73.0 (-11.1) (-8.7) 保 74.5 (+7.8) (+0.3)	カウンセリング利用生徒が少ない。友人関係のトラブルを教員に相談してくることが多いが、保護者には伝わりづらい。	全体へのガイダンスだけでなく、個別面談を通して生徒の進路目標を明確にしていく。生徒指導についても進路実現を目標とすることを土台にしていきたい。
<b>7 教育相談</b> 生 73.0 (-11.1) (+0.9) 保 68.1 (-0.7) (-12.2)	進路に関する情報も保護者におおむね伝わってはいるが、生徒と保護者が進路について話し合うことが十分にできていないことが考えられる。	学年だよりや学級通信を活用して、生徒と保護者が進路について話し合うきっかけを提供していきたい。
<b>12 進路目標の明確化</b> 生 74.2 (-1.4) (+3.0) 保 60.9 (-9.9) (-11.2)	進路に関する情報も保護者におおむね伝わってはいるが、生徒と保護者が進路について話し合うことが十分にできていないことが考えられる。	教育活動の充実とともに、学年だよりや学級通信を活用して、タイムリーな発信を心がけたい。
<b>13 進路実現に向けた指導※肯定的</b> 生 74.2 (-1.4) (+2.1) 保 68.1 (-4.8) (+0.9)	学校行事の取り組みと異なり、進路指導や生活指導での生徒の取り組みや成長が保護者に伝わっていないことが考えられる。	教育活動の充実とともに、学年だよりや学級通信を活用して、タイムリーな発信を心がけたい。
<b>14 進路情報提供・相談※肯定的</b> 生 74.2 (-1.4) (+7.9) 保 68.1 (+18.1) (+2.5)	学校行事の取り組みと異なり、進路指導や生活指導での生徒の取り組みや成長が保護者に伝わっていないことが考えられる。	教育活動の充実とともに、学年だよりや学級通信を活用して、タイムリーな発信を心がけたい。
<b>18 学校の情報</b> 生 75.9 (-19.2) (-2.9) 保 73.3 (-18.4) (-15.0)	学校行事の取り組みと異なり、進路指導や生活指導での生徒の取り組みや成長が保護者に伝わっていないことが考えられる。	教育活動の充実とともに、学年だよりや学級通信を活用して、タイムリーな発信を心がけたい。
<b>20 学校生活の充実度</b> 生 56.1 (-12.3) (-3.8) 保 66.7 (-2.1) (-11.6)	学校行事の取り組みと異なり、進路指導や生活指導での生徒の取り組みや成長が保護者に伝わっていないことが考えられる。	教育活動の充実とともに、学年だよりや学級通信を活用して、タイムリーな発信を心がけたい。



## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

### 7 3 学年

#### (1) 肯定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（肯定的な評価を受けたことについて考えられる理由等）

#### (2) 否定的な評価を受けた項目

質問番号・項目	分析（否定的評価の理由等）	今後に向けた改善策等
2. 学習習慣 ▲(保16.4%, 生5.5%)	2. 【保27.1% 生21.6%】 各教科で工夫して週末課題を出しているものの取組みやすい内容なので、家庭に持ち帰らずに学校で行っているため保護者には勉強する姿として映らない。	①「週末課題，考査のための学習」など例を文言に付け加える。 ②家庭で勉強をさせるよう引き続き声かけを行っていく。
5. 生活指導の方針 ▲(保9.1%, 生16.6%)	5. 【保75.0% 生62.2%】 指導方針については生徒に指示していると思うが、各学年での指導が揃わないところで、3学年生徒からこのような評価を受けたと思う。また、自由記述にある1～3の意見から「学校を良くしたい」という意欲の現れともとれる。	①イエローカード制は、罰則ではない。指導の1つであることを事あるごとに生徒に伝え「学校を良くしたい」と考える人の満足度を上げていけるようにする。 ②学年主任者会議等で意思・指導の統一をする。
13. 進路実現 ▲(保6.6% 生15.9%)	13 【保83.3% 生77.0%】 生徒自身の進路に対する意欲が低い生徒や、進路実現のための方策が生徒に伝わってないところもあり、説明会への参加や面接練習への参加も積極的でなかったことも原因である。全体的に「就職したい企業」ではなく「就職できる企業」を選択する生徒が多かった。	①企業合同説明会自体の重要性を個別に伝えることも必要である。 ②自分の将来について考えさせる時間を大切に、ライフプランをしっかりと立てさせる。 ③「学校は」だと漠然としているので「先生方は」と文言を変える。 ④3年生が落ち着いた12月頃から、本校進路部の先生方の紹介を2年生に対して行い連携を密にしていく。
16. ボランティア活動 ▲(保6.3% 生22.7%)	16 【保79.2% 生63.9%】 ボランティア部以外の生徒の活動が、例年より少なかった。例年行っていたLHR時に「学校周辺のゴミ拾い」など今年が入っていなかった。	①学年の取組みとして年に1回程度は実施を検討する。 ②文言を「ボランティア活動」だけでなく例として「地域行事や挨拶など」と付け加える。

## 各分掌・学年の学校評価に対する分析と改善策

自由記述	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 学年によって容儀指導(髪色)の度合いに違いがある。</li><li>2. 今年度在校生の身なりの乱れ, また素行の悪さが目立つようになった。ここ数年岩高は良くなってきたのに, ここへ来ての悪評は悲しい。</li><li>3. 生徒に対して甘い, もっと厳しい指導をしてほしい。イエローカードの判定が甘い。</li><li>4. 通学路のマナーに問題がある。</li><li>5. トイレや水場が汚い。</li><li>6. 岩高短歌をいつも楽しみにしている。他校にはない取組みなので, ずっと続けてほしい。</li></ol>	<p>1～4 教員間で足並みを揃えて指導する必要がある。</p> <p>5 清掃担当区域での清掃をしっかりと, 使う生徒もきれいに使うように声かけをする。</p> <p>6 特色ある学校づくりをこれからも続け, 地域・保護者・近隣学校へ情報を流していく。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------